

校長室の窓から ～夢の扉第12号～vol. 62 R3.6.21(月)

期末考査が始まります。

文責 学校長



～九州総体で少林寺拳法部・陸上部が躍動～

今週末曜日(6/24)から期末考査が始まります。今回も土・日を挟んだ試験日程になっていますので、試験期間中の土・日を有効に活用すれば、十分な学習時間が確保できるはずです。どうせ勉強するなら満点(100点)を目指して十分な準備・学習で試験に臨みましょう。(『100点取れたら諸君の勝ち。取れなかったら先生の勝ち』ぐらいの気持ちで頑張ろう)。4日間の期末考査での諸君の健闘を祈ります。

1 九州総体で少林寺拳法部が優勝、陸上部3名が全国大会へ。

沖縄県の感染拡大の影響で多くの九州大会が中止措置となる中、全国総体の出場権を懸けた「陸上北九州大会」が6月17日(木)から20日(日)まで大分県スポーツ公園で開催されました。また、6月19日(土)・20日(日)に「全九州高校少林寺拳法競技大会」が福岡県中間市体育文化センターで開催されました。陸上では、男子200mで川崎秀智くん(2-3)が第3位、男子三段跳びで山口源太郎くん(2-2)が第5位、女子砲丸投で久原ひなたさん(3-5)が第6位に入賞し、3名は全国総体への切符を手に入れました。少林寺拳法では、女子団体演武で優勝、男子団体演武で第2位、女子組演武で古賀文奈さん(3-4)・佐藤彩音さん(3-3)が第1位、溝口藍さん(3-1)・宮原希美さん(3-3)が第2位、男子組演武で高野凌生くん(3-2)・福田昂生くん(3-3)が第1位、谷口雄一くん(2-2)・福島博人くん(1-6)が第3位となり、総合で男女とも優勝(他県との同点優勝)しました。

2 国体弓道競技選考会で2名が上位入賞し、国体出場メンバーに選ばれました。

6月13日(日)に鳥栖市民弓道場で行われた国体弓道競技選考会において、近的競技男子個人の部で松尾海渡くん(2-3)が第2位、女子個人の部で野口萌花さん(3-4)が第2位、また遠的競技女子個人の部で野口萌花さんが第3位に輝きました。松尾くん・野口さんの2名は国体少年の部の代表メンバーに選出されました。

3 今週の名言・・・フョードル・ドフトエフスキー(ロシア)の言葉です。

夜眠りに入る前に「やるべきことをまだ実行していない」と思い出したら、すぐに起き上がり実行しなさい。

【解説】この言葉を聞いて、耳が痛い・胸に突き刺さるという人が多いのではないのでしょうか。受験勉強はある意味で「睡魔」との闘いとも言えます。その「睡魔」に負けて、眠ってしまって朝起きて後悔の念に苛まれたこと、「ちょっと仮眠しよう」と横になりそのまま朝まで眠ってしまって「やっべえ」と思ったことなどはないのでしょうか。そんな人はこの言葉を大きく書いて天井に貼っておくと弱い自分を奮い立たせてくれる言葉になるのではないのでしょうか。「今日やるべきことをすべてやりつくした」という満足感と共に床に就きたいものです。受験生である3年生はもとより、部活で疲れた体に鞭打って勉強との両立に励んでいる1・2年生諸君、自分に負けるな。

【ドフトエフスキーについて】ロシアの小説家・思想家。代表作は『罪と罰』、『白痴』、『悪霊』、『カラマーゾフの兄弟』など。トルストイ、ツルゲーネフと並び、19世紀後半のロシア小説を代表する文豪です。(参考:「Wikipedia」より)

4 今週のお話成語・・・「鼎の軽重を問う」【問題】英語で表現すると?

権力者の実力を疑うこと。統治者を軽んじ、その地位や権力を奪おうとすること。「鼎」は金属製の三本足の釜で、王位の象徴とされるもの。

(出典:『春秋左氏伝』・宣公三年より)



【由来】楚の荘王が天下を取ろうという野心があって、周の都にせまった時、周の定王に、周の宝器である鼎の軽重を尋ねたという次のような故事に基づきます。「楚子(=楚の荘王)が陸渾(りくこん)地方の戎(じゅう)を伐ち、そのまま洛水のほとりまでやって来ると、周の国境付近で観兵式を行った。周の定王は王孫滿を派遣して、楚子をねぎらわせた。楚子は九鼎の大きさと重さを尋ねた。王孫滿が答えて言った。『鼎の大小軽重は持つ人の徳によって決まるのであって、鼎そのものに備わるものではありません。昔、夏の王朝の徳が十分であった頃、遠方の産物を絵に描かせて、全国の長から献上された銅で鼎を造り、産物の図柄を鼎の上に鑄込ませました。あらゆる物をここに備えさせ、人々に神と魔物を教えました。そのため、人々は川沢、山林に入っても害なすものに会わずに済みました。魍魎魍魎の類いに出会わず、上も下も調和が取れ、天の恵みを受けていました。しかし、桀(けつ=桀王)が徳を失ったため、鼎は商に移り、六百年たちました。そして、商の紂(ちゅう=紂王)が暴虐であったため、また鼎は周に移りました。もし徳が美しく輝いていれば、たとえ鼎が小さくても、重いものです。もし、邪悪で世が乱れていれば、鼎は大きくても軽いものです。天は徳のある人に福を授けますが、それも期限あることです。成王が九鼎を洛陽(らくよう)に安置したとき、三十代、七百年続くと占いに出了ました。これは天命であります。周王朝の徳は衰えたとはいえ、天命はまだ改まっておりません。鼎の軽重を問うことはなりません』と。」

「鼎」とは、古代中国で煮炊きに用いた三本足の青銅器のことで、全国の銅を集めて九鼎を造り、王室の宝とされた。このことから、帝王の位や権威の象徴とされるようになった。(参考:『中国故事街』他)

5 どこがおかしい日本語(その12)・・・どこが間違いかわかりますか?

①良妻兼母 ②歌舞伎の黒子 ③お忙ぎでない方は ④蟻の入り込む隙間もない ⑤口をにごす

6 今週の一冊・・・横山秀夫の『ノースライト』（新潮社）です。

一級建築士の青瀬は、信濃追分へ車を走らせていた。望まれて設計した新築の家。施主の一家も、新しい自宅を前に、あんなに喜んでいたのに…。Y邸は無人だった。そこに越してきたはずの家族の姿はなく、電話機以外に家具もない。ただ一つ、浅間山を望むように置かれた「タウトの椅子」を除けば…。このY邸でいったい何が起きたのか？（参考：本書裏表紙説明より）

【解説】映画化もされ、話題作となった『64(ロクヨン)』から6年。読者待望の長編ミステリーです。本の表紙の広告にあるように、「横山ミステリー史上最も美しい謎」という評価も肯ける読後感のよい作品です。読み終えた後の「熱く込み上げる感動。一家はどこへ消え、空虚な家になぜ一脚の椅子だけが残されていたのか？」「週刊文春ミステリーベスト10」国内部門 第1位。「このミステリーがすごい! 2020年版」国内編第2位となった一冊です。建築を志す人にもお薦めの一冊です。

【作者・横山秀夫について】1957年東京生まれ。新聞記者、フリーライターを経て、1998年「陰の季節」で松本清張賞を受賞し、作家デビュー。2000年「動機」で日本推理作家協会賞受賞。以降、『半落ち』、『第三の時効』、『クライマーズ・ハイ』、『看守眼』など話題作を連打する。2012年刊行の『64(ロクヨン)』は各種ベストテンを席卷し、英国推理作家協会賞インターナショナル・ダガー最終候補やドイツ・ミステリー大賞海外部門第1位にも選ばれた。『ノースライト』は作家生活21年目の新たな一歩となる長編ミステリー。（参考：本書の著者紹介文より）

7 世界遺産を巡る(日本編)・・・第12回は紀伊山地の霊場と参詣道（登録年：2004年）

【解説】紀伊山地は本州最南端、太平洋に張り出す紀伊半島に位置し、標高1,000m～2,000m級の山脈が縦横に走り、年間3,000mmを超える豊かな降水量が深い森林をはぐくむ山岳地帯です。紀伊山地は太古の昔から自然信仰の精神を育んだ地で、6世紀に仏教が伝来した以降、紀伊山地は真言密教をはじめとする山岳修行の場となりました。中でも、山岳修行により超自然的能力を獲得することを目的として10世紀中ごろから11世紀代に成立した修験道は、特に大峰山系の山岳地帯を中心的な修行の場としていました。また、9～10世紀に広く流布した「神仏習合」思想（日本古来の神々は仏教の諸尊が姿を変えて現れたものとする日本固有の思想）の聖地としても信仰を集めていました。さらに、10～11世紀頃の日本では「末法思想」（仏法が衰え世も末になるという思想）が流行し、死後に阿弥陀仏の居所である極楽浄土に往生することを願う「浄土宗」という仏教の教えが貴族や庶民の間に広まりました。これに伴って、都の南方に広がる紀伊山地には仏教諸尊の浄土があると信じられるようになり、この地の霊場としての性質がますます強まりました。この地方の神聖性がことさら重要視されるようになった背景には、深い山々が南の海に迫るといった独特の地形や、両者が織り成す対照的な景観構成などが大きく影響していたものと考えられています。このような特有の地形及び気候、植生などの自然環境に根ざして育まれた多様な信仰の形態を背景として、「吉野・大峯」、「熊野三山」、「高野山」と呼ばれる顕著な三つの霊場とそれらを結ぶ「参詣道」が形成されました。登録対象は、吉野山・金峯山寺・熊野本宮大社・熊野那智大社・那智大滝・高野参詣道・金剛峯寺など23に及びます。（参考：文化庁HP『日本の世界遺産一覧』より）



8 街角グルメを訪ねて・・・第12回は唐津市の「お食事処 ひぜん」です。（唐津市鏡辻 1047-1）

県道40号線を鏡中学校方面へ向かい、まいづる9鏡店の近くにあるお店です。リーズナブルなランチが評判の洋食のお店で、定食のご飯はおかわりができます。唐津に行ったときに何度か立ち寄ったことのあるお店ですが、コストパフォーマンスが極めて高い洋食屋さんです。この日は写真の「生姜焼き定食」（700円）を注文しました。ボリュームがあり、ご飯3杯は食べられそうな生姜焼きの量でした。（ダイエット中のためお替りなしで我慢）。他にもステーキからカレー・スパゲッティ・麺類・定食・丼物までメニューも豊富で、唐津では珍しく、長崎名物のトルコライス（とんかつ・ナポリタン・白飯・カレーが一皿にのってくる）やひぜんランチ（とんかつ・白飯・カレー）が食べられるお店でも有名です。お昼ご飯でも夕食でもガッツリお腹を満足させてくれること間違いなしです。



9 保護者の皆様へ・・・アンケート(いじめ・体罰)へのご協力宜しくお願い致します。

【英語】 to call one's ability into question; to weigh one's ability

【正解】①良妻賢母②歌舞伎の黒衣③お急ぎでない方は④蟻の這い出る隙間もない⑤言葉をにごす

①夫に対しては良い妻であり、子供に対しては養育に励む賢い母であること。②真っ黒な衣装に身を包み、顔まで隠した黒衣（くろご）は歌舞伎の世界にはなくてはならない存在です。役割は芝居のサポートで、役者に小道具を渡したり、余計なものを片付けたり、とにかく様々な場面で大いに活躍します。歌舞伎の世界において「黒は見えない」という「約束」です。ちなみに「黒子」と書くとホクロのことになります。③「忙」は「いそがしい」の意味。「いそぐ」の意であれば「急ぐ」とすべき。④ほんのちょっとのすき間もないことを意味し、四方八方を厳重に囲まれて、どこにも逃れ出るすきがないさまを表す語です。⑤文化庁が平成28年度に行った国語に関する世論調査では、正しい使い方である「言葉を濁す」を使う人が74.3%、間違った使い方である「口を濁す」を使う人が17.5%という結果が出ています。「お茶を濁す」との混同かとも思われます。